

その他サービス業



開発管理の可視化による生産性向上



プロジェクト管理ツールとBIダッシュボードで 有効稼働率と開発品質を改善

背景・課題

弊社のソフトウェア開発は、業績拡大に伴い大型案件が増加し、従来の個別管理手法が機能しなくなりました。これにより、納期遅れや採算悪化が頻発し、各部署で問題が発生しました。対策として、開発状況のリアルタイム可視化と開発管理の標準化を全社で推進することにしました。

創意工夫した点・得られた成果・今後の展開

開発管理ツールによる標準化とBIダッシュボードによる可視化での管理が定着するにつれ、問題を早期に発見できるようになった結果、大口トラブルがゼロとなり、有効稼働率が上昇し、大幅な利益改善につながりました。また、見える化で要員計画の精度が向上し、従業員の生産性や収益性への理解が深まり、利益追求型の企業文化が醸成されました。



岡谷システム株式会社

代表取締役社長 漆原 隆

本社 愛知県名古屋市中区栄二丁目4-18

